

2024年度 事業報告
(2024年1月1日～12月31日)

(一社)札幌農学同窓会 関西支部

2024年度はコロナ禍の影響も和らぎ通常環境で各事業を実施することが出来た。本年は関西支部設立20周年に当たる特別な年であり、新たな取り組みを具体化するためにプロジェクトによる活動を行った。最初に関西支部ホームページ開設を行い、6月の第18回市民公開フォーラムでは従来の企業協賛を主体としたスタンプラリーによる集客に頼らない構成に挑戦した。

(1)2024年度通常総会の開催

通常総会は2月17日(土)に大阪ガーデンパレスで開催し、会員総数640名に対し出席会員129名(うち委任状107名)となり、本会関西支部細則第9条第4項の定員数の規定を満たし、本会は有効に成立することが出来た。第1号議案の事業報告、収支決算報告、監査報告、第2号議案の2024年度の事業計画(案)、収支予算(案)も承認され、滞りなく総会を終えた。

(2)講演会の開催

春季講演会は通常総会後に天知輝夫氏(S38年農化卒・京都大学名誉教授)から「有用微生物の探索からゴミ拾いの道へ」のテーマでご講演をいただいた。秋季講演会は北海道大学関西同窓会と合同で開催し、10月19日(土)ホテル日航大阪で北海道大学大学院農学研究教授・北海道ワイン教育研究センター長の曾根輝雄氏から「ワインの魅力:地域の持続性を高める鍵として」のテーマでご講演をいただいた。

(3)第18回市民公開フォーラムの開催

6月8日(土)に堺市フェニーチェ堺で開催した。テーマを「考えよう!子どもの健康と食生活」として、子どもたちが参加し易い内容で試みた。基調講演には食育活動に長年携わられている北海道大学特任教授 久田徳二氏が「アグリ大学」の活動を織り交ぜ講演された。また初めての試みとして相愛大学の教授、学生方と協働企画として「子どもクイズ大会」を行い好評価を得る事ができた。パネルディスカッションでは子ども料理教室主宰 村上三保子さん、サンプラザ社長 山口力氏にもご登壇頂いた。さらに主賓には近畿農政局次長 犬飼史郎氏(H2年農学部卒)お出で頂き挨拶を頂くこともでき、大阪府、堺市、北海道大阪事務所からもご出席いただいた。

(4)同窓会会費の納入促進と新入会員の参加促進

設立20周年記念事業として関西支部ホームページの開設を行い、幅広く情報発信が出来る新たな場を作り、総会、市民公開フォーラム、講演会、懇親会の場や、案内状送付の機会を利用して、ホームページと連携した新規会員の勧誘と会費の納入促進を試みた。

(5)本部との連携と大学行事への協力

農学部卒業祝賀会に参加し卒業生方に対し、支部活動の紹介および北大会館の紹介を行うことが出来た。アルムニレクチャーは次年度に向けて講師派遣要請を受け紹介を行った。